

三回忌・原節子

三鷹市芸術文化センター 星のホール

各回2本立て / 昼夜入替制 *1本目と2本目の間に、約30分間の休憩あり
全公演 昼の部午前11時上映開始 / 夜の部午後4時上映開始

【チケット販売所】 三鷹市芸術文化センター 発売日初日は、午前10時から電話とインターネットでのみ予約を開始し窓口販売はございません。
・電話予約0422-47-5122 (午前10時～午後7時/日曜日休業)
・インターネット予約 <http://mitaka-art.jp/ticket> *事前登録(無料)が必要となります。携帯電話からの場合は、届きは自動返信です。
【主催・お問い合わせ】 (公財)三鷹市スポーツと文化財団 0422-47-5122

プログラム	作品名	監督	製作年	巻数	昼の部	夜の部	財団友の会	一般
2017 5.13 [土]	『河内山宗俊』	山内直雄	1916	8巻	11:00-12:13	16:00-17:13	2017 4.13 [木]	2017 4.14 [金]
	『巨人傳』	伊丹万作	1918	12巻	13:00-15:07	18:00-20:07		
6.10 [土]	『母の曲(総集篇)』	山本薩夫	1937	9巻	11:00-12:31	16:00-17:31	5.11 [木]	5.12 [金]
	『わが青春に悔なし』	黒澤明	1946	11巻	13:05-14:55	18:05-19:55		
7.22 [土]	『安城家の舞踏会』	吉村公三郎	1947	8巻	11:00-12:29	16:00-17:29	6.8 [木]	6.9 [金]
	『晩春』	小津安二郎	1949	10巻	13:05-14:53	18:05-19:53		
9.23 [土・祝]	『青い山脈』	今井正	1949	9巻	11:00-12:32	16:00-17:32	7.20 [木]	7.21 [金]
	『続青い山脈』	今井正	1949	9巻	13:05-14:35	18:05-19:35		
10.14 [土]	『誘惑』	吉村公三郎	1948	8巻	11:00-12:25	16:00-17:25	9.21 [木]	9.22 [金]
	『白痴』	黒澤明	1951	10巻	12:55-15:41	17:55-20:41		
11.18 [土]	『お嬢さん乾杯』	木下恵介	1949	8巻	11:00-12:29	16:00-17:29	10.12 [木]	10.13 [金]
	『麥秋』	小津安二郎	1951	12巻	13:05-15:10	18:05-20:10		
12.16 [土]	『東京の恋人』	千葉泰樹	1953	9巻	11:00-12:37	16:00-17:37	11.16 [木]	11.17 [金]
	『めし』	成瀬巳喜男	1951	9巻	13:15-14:53	18:15-19:53		
2018 1.27 [土]	『驟雨』	成瀬巳喜男	1956	9巻	11:00-12:30	16:00-17:30	12.14 [木]	12.15 [金]
	『東京物語』	小津安二郎	1953	13巻	13:05-15:20	18:05-20:20		
2.17 [土]	『女であること』	川島雄三	1958	10巻	11:00-12:40	16:00-17:40	1.25 [木]	1.26 [金]
	『智恵子抄』	熊谷久虎	1957	9巻	13:15-14:53	18:15-19:53		
3.10 [土]	『娘・妻・母』	成瀬巳喜男	1960	12巻	11:00-13:02	16:00-18:02	2.15 [木]	2.16 [金]
	『秋日和』	小津安二郎	1960	12巻	13:30-15:38	18:30-20:38		

【特別協力】 東京国立近代美術館フィルムセンター
【協力】 東宝株式会社、松竹株式会社、日活株式会社

【お客様へ】 上映に際しましては、試写を行うなど最善を尽くしておりますが、製作年数が古いため、フィルムの状態(映像・音声)が悪い場合がございます。ご了承のうえ、ご覧いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます。
口座番号:(ゆうちょ銀行)00190-5-569156
加入者名:三鷹市芸術文化センター

三鷹市芸術文化センター
181-0012 三鷹市上連雀6-12-14
Tel.0422-47-5122

三鷹市スポーツと文化財団
Mitaka Sports and Culture Foundation



もう一度、会いたい。

CINEMA SPECIAL

三回忌・原節子

2017.5-2018.3
三鷹市芸術文化センター 星のホール

【原節子】
1920年(大正9年)6月17日、神奈川県横浜市保土ヶ谷区(現在の横浜市保土ヶ谷区)に生まれる。本名、会田昌江。1935年(昭和10年)8月、15歳の時に、田口哲監督作品『赤い糸』でデビュー。その映画での役名「節子」をもとに、当時の雑誌記者が「原節子」の筆名をつけ、以後、スタッフからは「お節ちゃん」と呼ばれる。その後、生涯で100本を超える映画に出演したが、1962年(昭和37年)11月に封切られた船橋和郎監督作品『忠臣蔵 花の巻、雪の巻』を最後に、42歳の若さで銀幕から去り、以後、表舞台に出ることは一度もなかった。2015年(平成27年)9月5日死去。享年95歳。

平成二十七年九月五日。
多くの人々の、女優・原節子への再会の願いを叶えること無く、一人の女性として、会田昌江は、静かに、その生涯を閉じた。
享年、九十五歳。
それはまるで、ただの一度も引退の言葉を口にする事なく、四十二歳の若さで銀幕を去った、あの時のように。静かに。
三回忌、原節子。
もう一度、会いたい。

三回忌・原節子

CINEMA SPECIAL

<p>10.14 [土]</p> <p>チケット発売日 会員 9月21日 [木] 一般 9月22日 [金]</p> <p>『誘惑』 【原年】1948年 / 【原年】1948年 / 【原年】120min 監督: 吉村公三郎 脚本: 吉村公三郎 原作: 山本薩夫 主演: 原節子 山本薩夫 轟夕起子 山本明子 轟夕起子 原節子のデビュー作『赤い糸』に続く、吉村公三郎監督による、原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。</p>	<p>11.18 [土]</p> <p>チケット発売日 会員 10月12日 [木] 一般 10月13日 [金]</p> <p>『お嬢さん乾杯』 【原年】1949年 / 【原年】1949年 / 【原年】120min 監督: 木下恵介 脚本: 木下恵介 原作: 木下恵介 主演: 原節子 轟夕起子 轟夕起子 轟夕起子 原節子のデビュー作『赤い糸』に続く、木下恵介監督による、原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。</p>	<p>12.16 [土]</p> <p>チケット発売日 会員 11月16日 [木] 一般 11月17日 [金]</p> <p>『東京の恋人』 【原年】1953年 / 【原年】1953年 / 【原年】120min 監督: 千葉泰樹 脚本: 千葉泰樹 原作: 千葉泰樹 主演: 原節子 轟夕起子 轟夕起子 轟夕起子 原節子のデビュー作『赤い糸』に続く、千葉泰樹監督による、原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。</p>	<p>1.27 [土]</p> <p>チケット発売日 会員 12月14日 [木] 一般 12月15日 [金]</p> <p>『驟雨』 【原年】1956年 / 【原年】1956年 / 【原年】120min 監督: 成瀬巳喜男 脚本: 成瀬巳喜男 原作: 成瀬巳喜男 主演: 原節子 轟夕起子 轟夕起子 轟夕起子 原節子のデビュー作『赤い糸』に続く、成瀬巳喜男監督による、原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。</p>	<p>2.17 [土]</p> <p>チケット発売日 会員 2018年1月25日 [木] 一般 2018年1月26日 [金]</p> <p>『女であること』 【原年】1958年 / 【原年】1958年 / 【原年】120min 監督: 川島雄三 脚本: 川島雄三 原作: 川島雄三 主演: 原節子 轟夕起子 轟夕起子 轟夕起子 原節子のデビュー作『赤い糸』に続く、川島雄三監督による、原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。</p>	<p>3.10 [土]</p> <p>チケット発売日 会員 2月15日 [木] 一般 2月16日 [金]</p> <p>『娘・妻・母』 【原年】1960年 / 【原年】1960年 / 【原年】120min 監督: 成瀬巳喜男 脚本: 成瀬巳喜男 原作: 成瀬巳喜男 主演: 原節子 轟夕起子 轟夕起子 轟夕起子 原節子のデビュー作『赤い糸』に続く、成瀬巳喜男監督による、原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。原節子のデビュー作。</p>
---	---	--	--	--	---